
蒼い空の下の海で

六花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蒼い空の下の海で

【Nコード】

N0784P

【作者名】

六花

【あらすじ】

環境が変わった地球、そこで生きる人々と奇病。
少年は少女に誓い、少女は少年に希望を託す。

そして歳月は流れて二人は再会した時

今なお癒える事の無い傷を抱えて二人は懐かしくも悲しい記憶を
思い出す。

海で生きる人々の物語

プロローグ

原因不明の天変地異により陸地はバラバラに砕け散り、これまで発展して来た文明はほぼ全てが海の底へと沈んでいったとなので天変地異以前を空白時代と呼ばれている。天変地異以前より環境は変わり生命体も大きく変化を遂げた、そして人類にもその影響は現れた。突発性体質変化病

通称セイレーン病と呼ばれる奇病は最初に立ち眩みなど貧血に似た症状が出て、進行すると真っ直ぐ歩けなくなる。末期近くになると高熱と激しい痛みに苛まれ、二度と陸地を自分の足のみで歩ける事の出来ない体へとなってしまう。水に浸かれば下半身は魚のようになるため、海などの中で生活し易い姿に成る多くの発症者は人と違う姿になる自分を追いつめて自殺、迫害を受けるといふ悲しい事件も多かった。

四年前にある薬が開発されるまでは……

プロローグ（後書き）

世界観というか説明になってしまいました。頭の中にこれらを入れつつお読み頂けたら幸いです。

始まり

青い海と空が望める船長室、薄青の髪を結ばずにソラティエは椅子に深く腰掛けていた。机には黒い杖が二本立て掛けられていて、彼女の足が悪いことが分かる。机の上のPCに電源が入りロードが現れる、書類を眺めていたソラティエは顔を上げて時計を見れば1…58と表示されている、約束のした時間までもう2分しかない。

「久し振りだな」

「先週の会議に直接お会いしたばかりですよ」

「そうだったかな？」

とぼけたように画面の向こうの人物は笑う。傲慢なような喋り方をするから女王と同僚が影で言っているのをソラティエは思い出した。

「君に任せた仕事の件だが・・・」

「社長も心配症ですね、平気ですよ私は」

遮るようにソラティエは笑う、社長であるクロニカ・カルテットは『嘆き』の経験者を海軍とのパイプ役にしようと考えていた。十五年前の傷は深く根強かった、経験者の多くは革命後でも海軍を嫌っている。そこではソラティエは自ら立候補したのだ。

「約束を・・・」

「約束？」

「はい、約束を守りたいのです」

社長との通信を終えた後、ソラティエは足を撫でた。

杖が無ければもう歩く事は出来ない、足の筋肉や骨格が変化をしており上手く体重を支える事が出来ないからだ。水に入れば本人の意志に関係なく足は姿を変えて、魚の尾のようになってしまう。

セイレーン病とはそう言う病気なのだ、諦めていてもやはり少しだけでも自分で歩けるのなら、歩きたい。念の為に船には車椅子が

乗せられているが、ソラティエは片手で数える程度しか乗った事は無い。

「ただの、悪あがき・・・ですかね・・・」

ぽつりと零した言葉に自分で苦笑しながら、青い空を見つめていた。

始まり（後書き）

い、意味分かんなくてすいません

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0784p/>

蒼い空の下で海で

2011年1月31日07時49分発行